

道内の感染状況等について

【令和3年6月24日】

主な指標の状況

	医療提供体制等の負荷			監視体制	感染状況		
	病床全体	うち重症者用病床	療養者数	検査陽性率	新規感染者数	先週1週間との比較	感染経路不明割合
全道 (6/23)	696床 	25床 	1952人 	1.9% 	389人/週 (7.3人) 	0.50 	38.6%
うち札幌市内	342床 	14床 	982人 	2.8% 	283人/週 (14.5人) 	0.56 	42.4%
道ステージ5基準 (国ステージⅣ)	900床	90床	1327人	10%	1327人/週 (25.0人)	増加	50%
道ステージ4基準 (国ステージⅢ)	350床	35床	796人	10%	796人/週 (15.0人)	増加	50%

※()は10万人あたりの新規感染者数 ※各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較

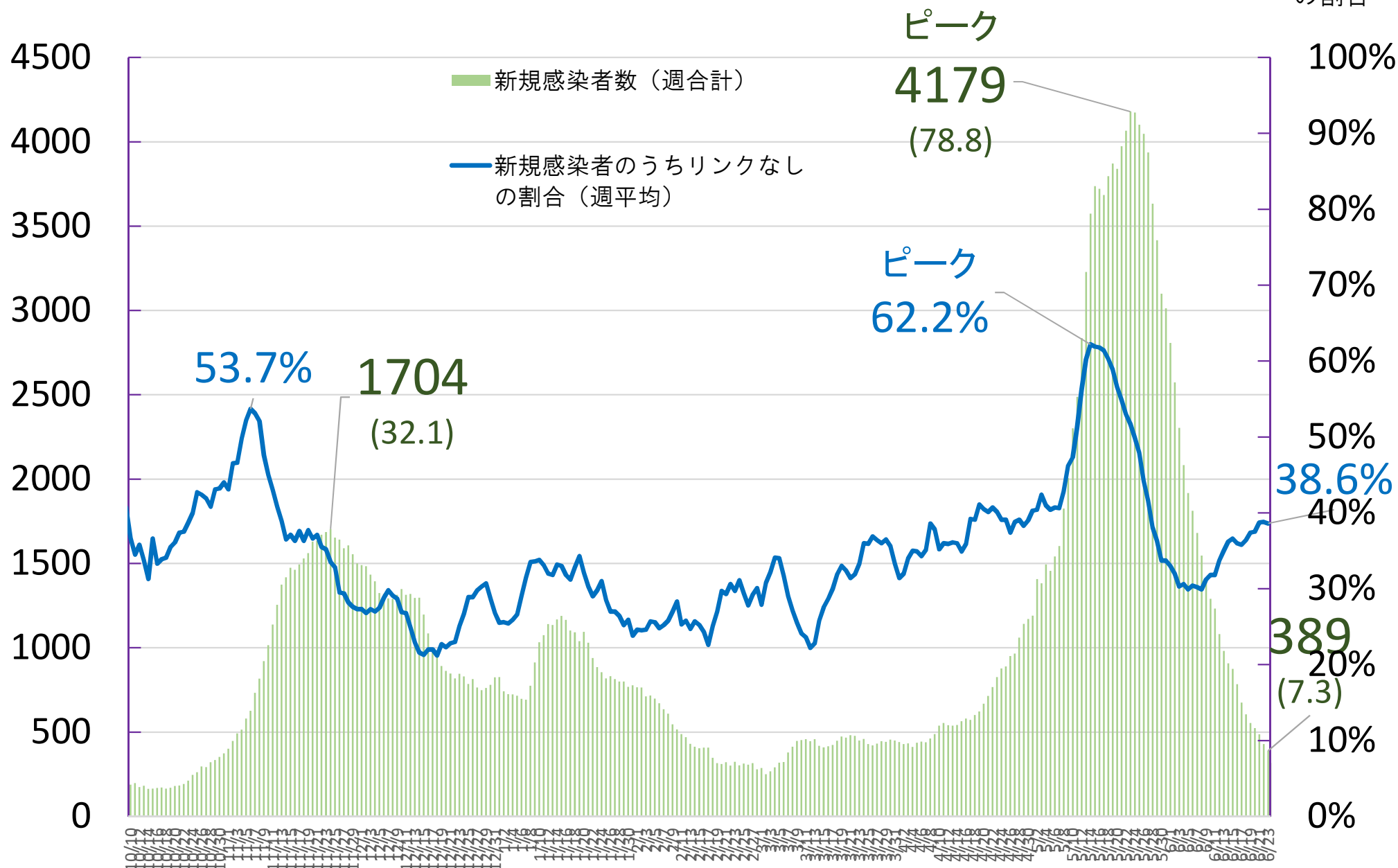
国の分科会提言で示された新たな指標

	医療提供体制等の負荷			監視体制	感染の状況		
	①医療の逼迫具合			②療養者数	③PCR陽性率	④新規陽性者数	⑤感染経路不明割合
	入院医療		重症者用病床				
全道 (6/23)	確保病床の使用率 33.3%	入院率 35.7%	確保病床の使用率 16.6%	36.8人	1.9%	7.3人	38.6%
うち 札幌市内	48.4%	34.8%	25.0%	50.2人	2.8%	14.5人	42.4%
国 ステージⅣの 指標	確保病床の使用率 50%以上	入院率 25%以下	確保病床の使用率 50%以上	30人 /10万人以上	10%以上	25人 /10万人/週以上	50% 以上
国 ステージⅢの 指標	確保病床の使用率 20%以上	入院率 40%以下	確保病床の使用率 20%以上	20人 /10万人以上	5%以上	15人 /10万人/週以上	50% 以上

感染状況(全道)

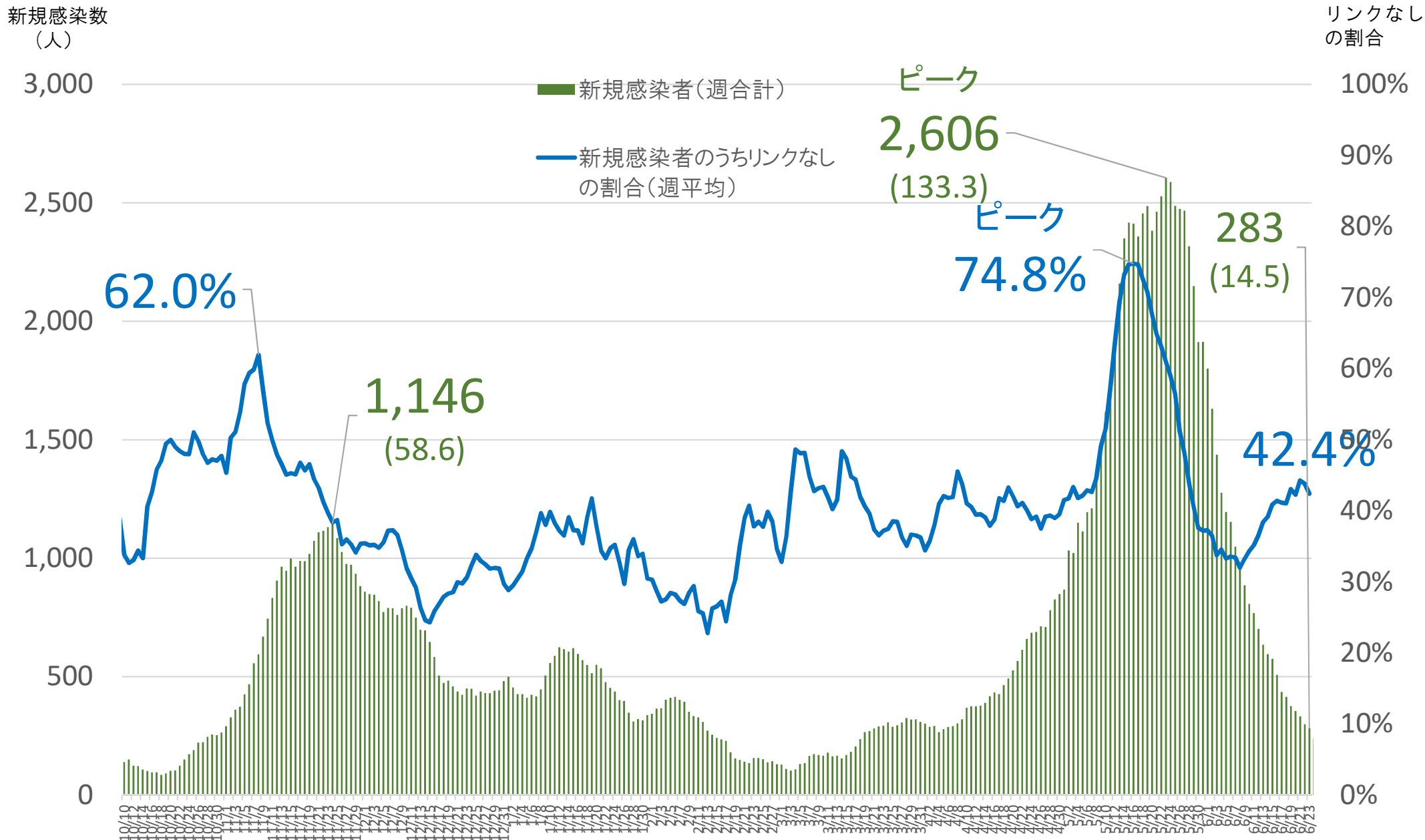
新規感染数(人)

リンクなしの割合

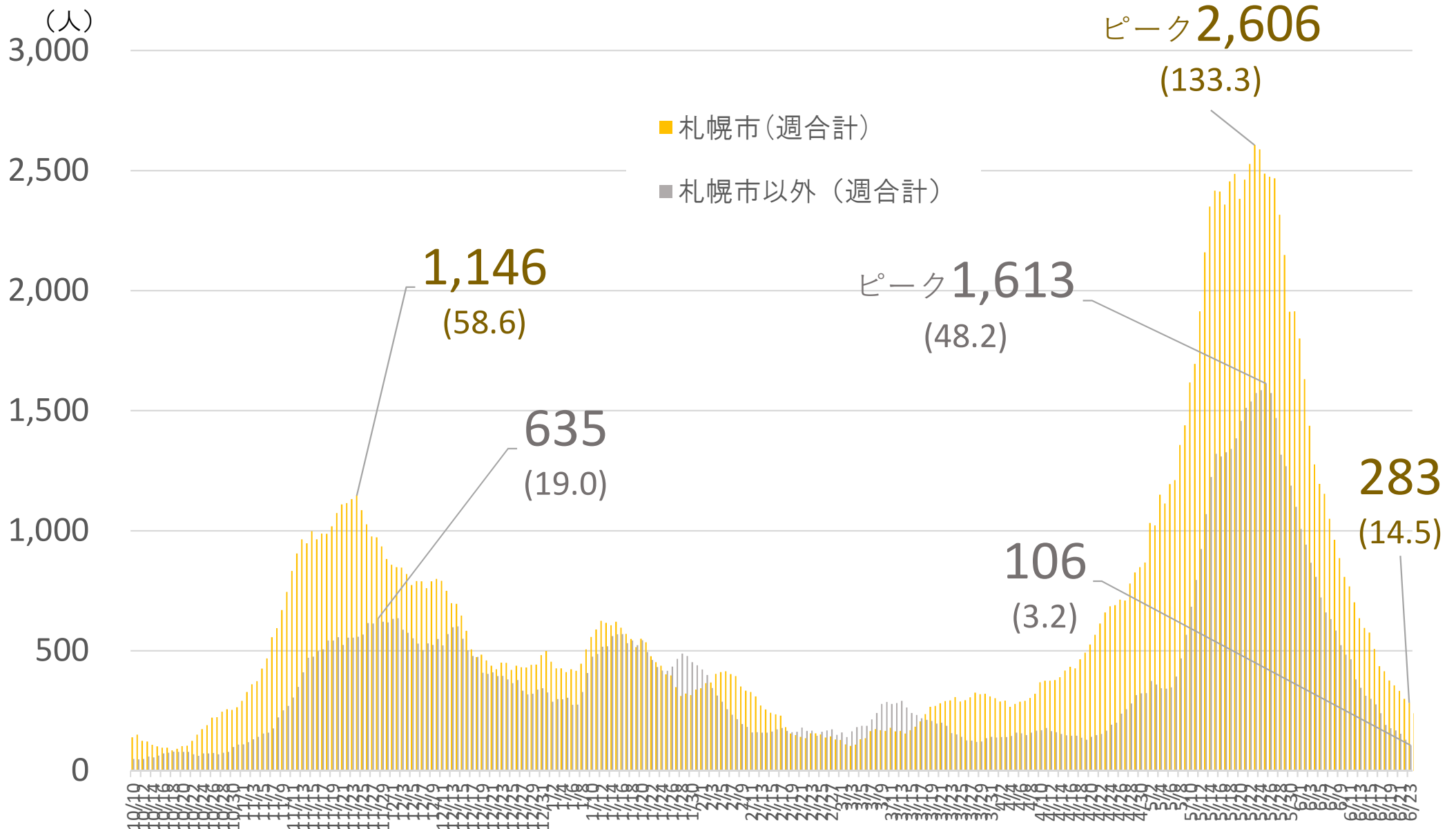


()は10万人当たり人数

札幌市の感染状況



新規感染者数(札幌市／札幌市以外)



()は10万人当たり人数

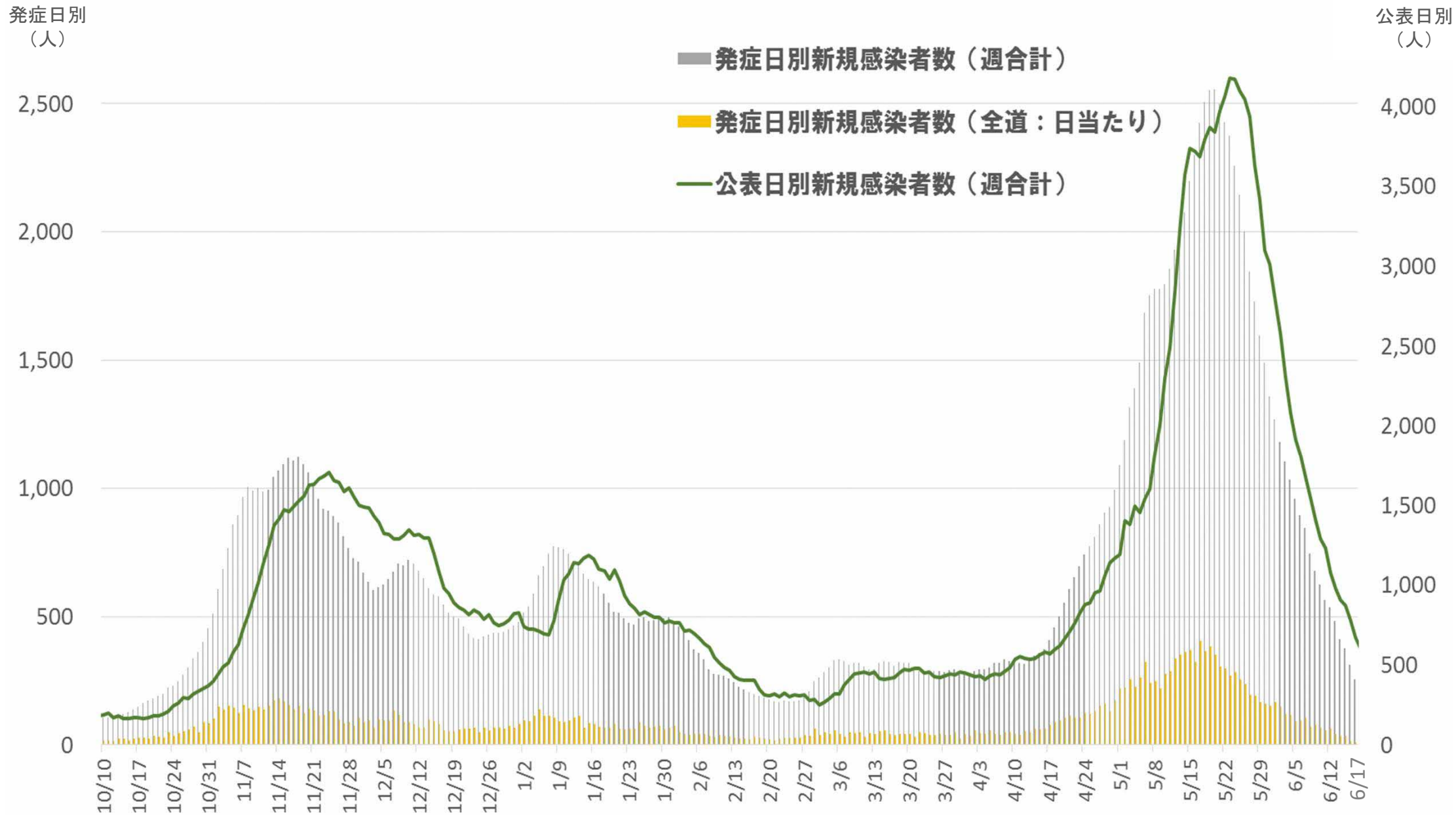
※7日間合計で集計。「札幌市」には、札幌市が居住地非公表として発表した者並びに札幌市以外が札幌市居住として発表した者及び居住地を「その他」として発表した者のうち札幌市居住である者を含む。

地域別の感染状況

	空知	石狩 (札幌除く)	札幌市	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室	道外	合計
6/10 ～ 6/16	51	64	507	20	14	2	30	0	32	2	0	5	22	33	0	1	783
6/17 ～ 6/23	14	18	283	3	22	0	23	0	0	0	2	2	14	7	0	1	389

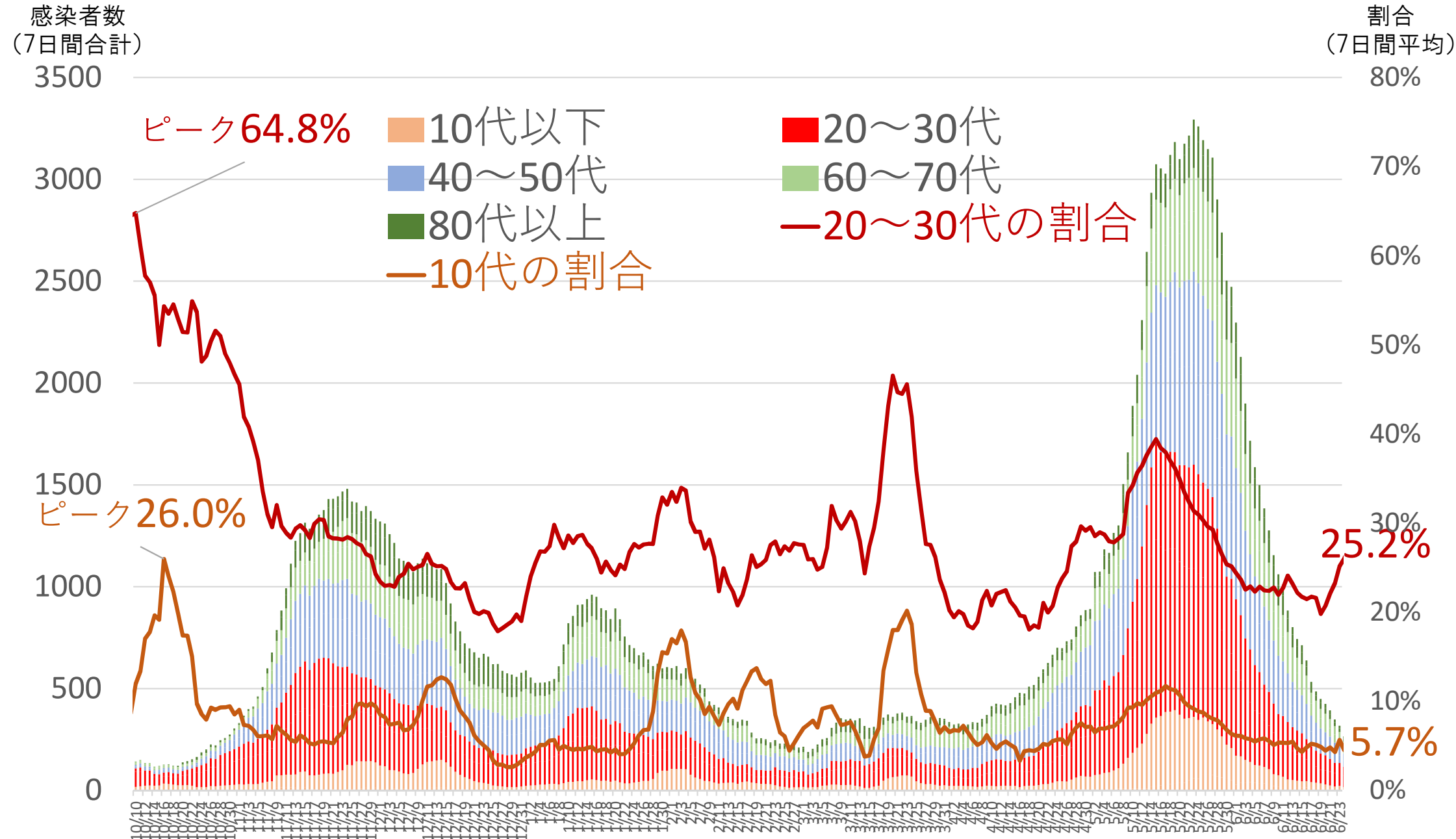
※「居住地」により整理。なお、各保健所設置市が居住地非公表として発表した者は、各振興局等に含めて計上。

発症日別～公表日別の新規感染者数(全道)



※発症日別新規感染者数については、調査に時間を要するため、数日前のデータとなる。
※無症状者及び発症日不明者があるため、発症日別と公表日別の公表人数が異なる。

年代別感染者数と20代～30代の割合(全道)

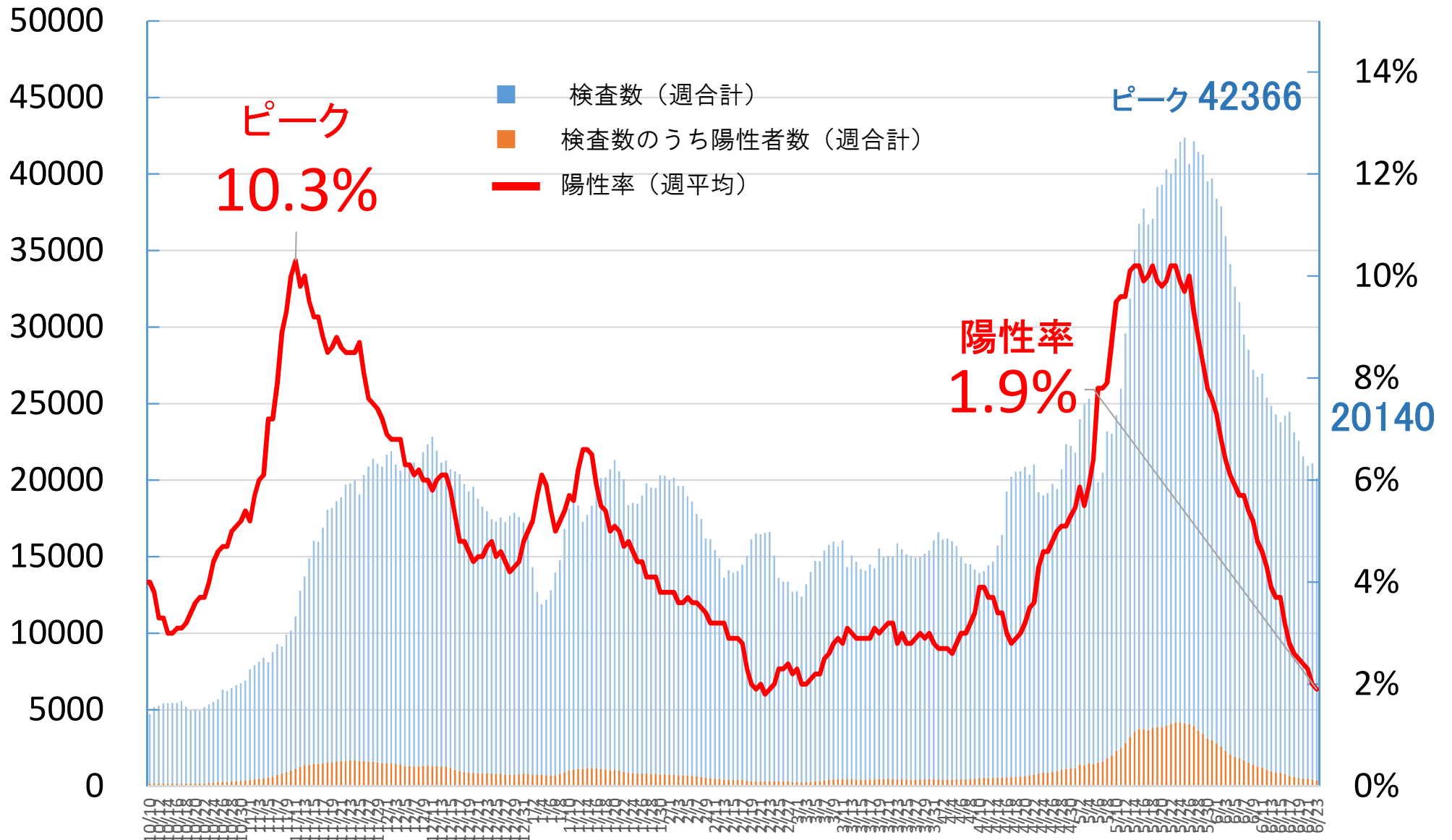


(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

監視体制(陽性率と検査数)(全道)

検査数 (人)

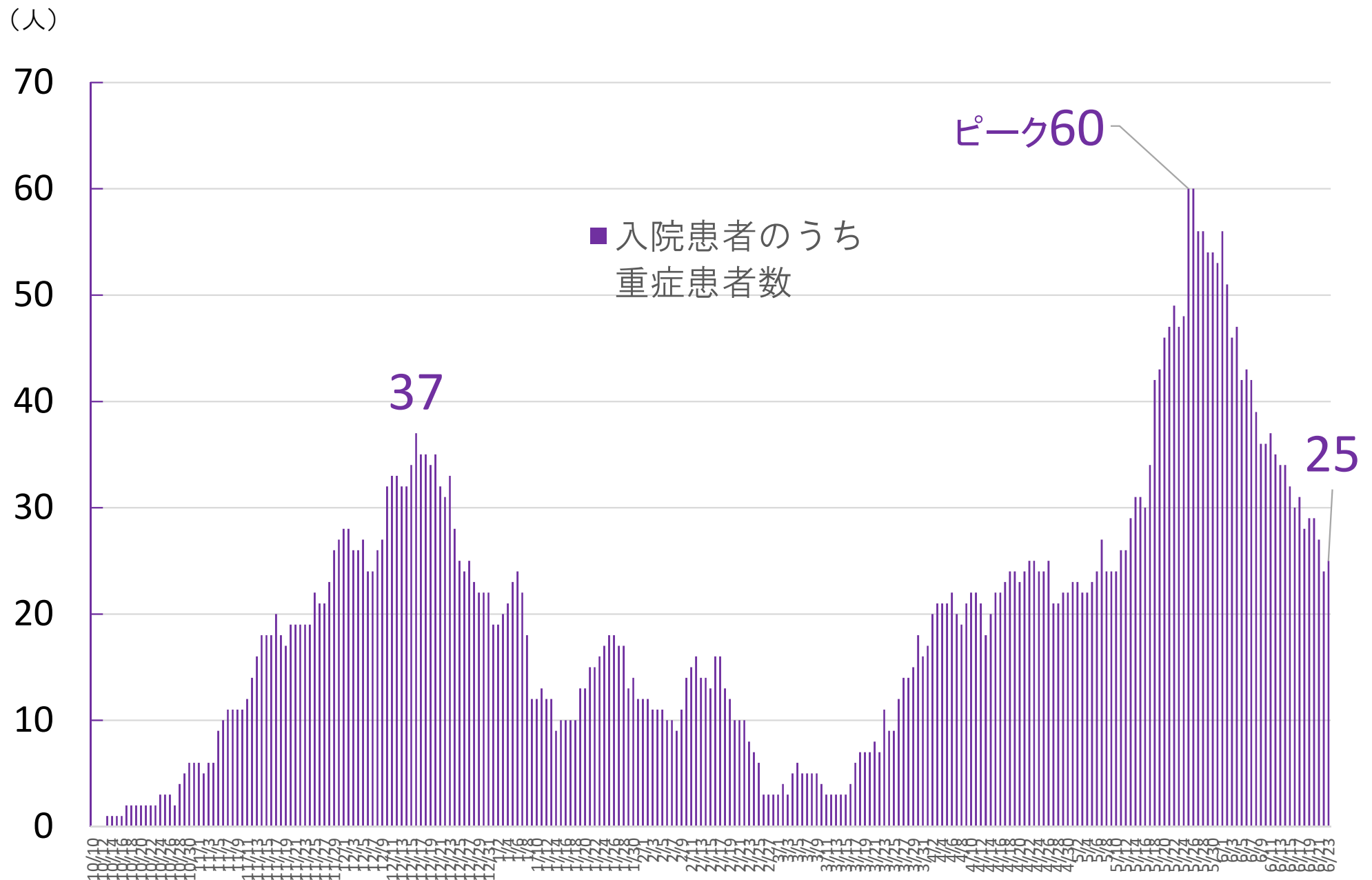
陽性率



医療提供体制等の負荷(病床全体)(全道)



医療提供体制等の負荷(重症者用病床)(全道)



集団感染の発生状況(全道)

	2月	3月	4月	5月	6月 (6/1~23)
医療施設 福祉施設	15件 (294人)	14件 (294人)	23件 (512人)	86件 (1880人)	20件 (209人)
事業所等	10件 (103人)	9件 (110人)	9件 (81人)	36件 (604人)	24件 (246人)
飲食店等	5件 (43人)	8件 (96人)	14件 (102人)	13件 (134人)	2件 (15人)
学校	3件 (33人)	5件 (84人)	7件 (113人)	23件 (228人)	9件 (89人)
合 計	33件 (473人)	36件 (584人)	53件 (808人)	158件 (2846人)	55件 (559人)

※「飲食店等」には、接待をとまなうもの及び飲食を伴う行事(集会・イベント等)を含み、その他の行事については、「事業所等」に含めている。

集団感染の発生状況(札幌市／札幌以外)

	6/3~9		6/10~16		6/17~23	
	札幌市	札幌以外	札幌市	札幌以外	札幌市	札幌以外
医療施設 福祉施設	5件 (53人)	6件 (52人)	4件 (45人)	2件 (16人)	—	—
事業所等	9件 (115人)	2件 (14人)	2件 (17人)	2件 (13人)	3件 (16人)	1件 (10人)
飲食店等	—	—	—	—	1件 (7人)	—
学校	1件 (9人)	2件 (12人)	1件 (11人)	1件 (7人)	—	1件 (10人)
合 計	15件 (177人)	10件 (78人)	7件 (73人)	5件 (36人)	4件 (23人)	2件 (20人)

※「飲食店等」には、接待をとまなうもの及び飲食を伴う行事(集会・イベント等)を含み、その他の行事については、「事業所等」に含めている。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

1 高齢者(65歳以上)向け接種について

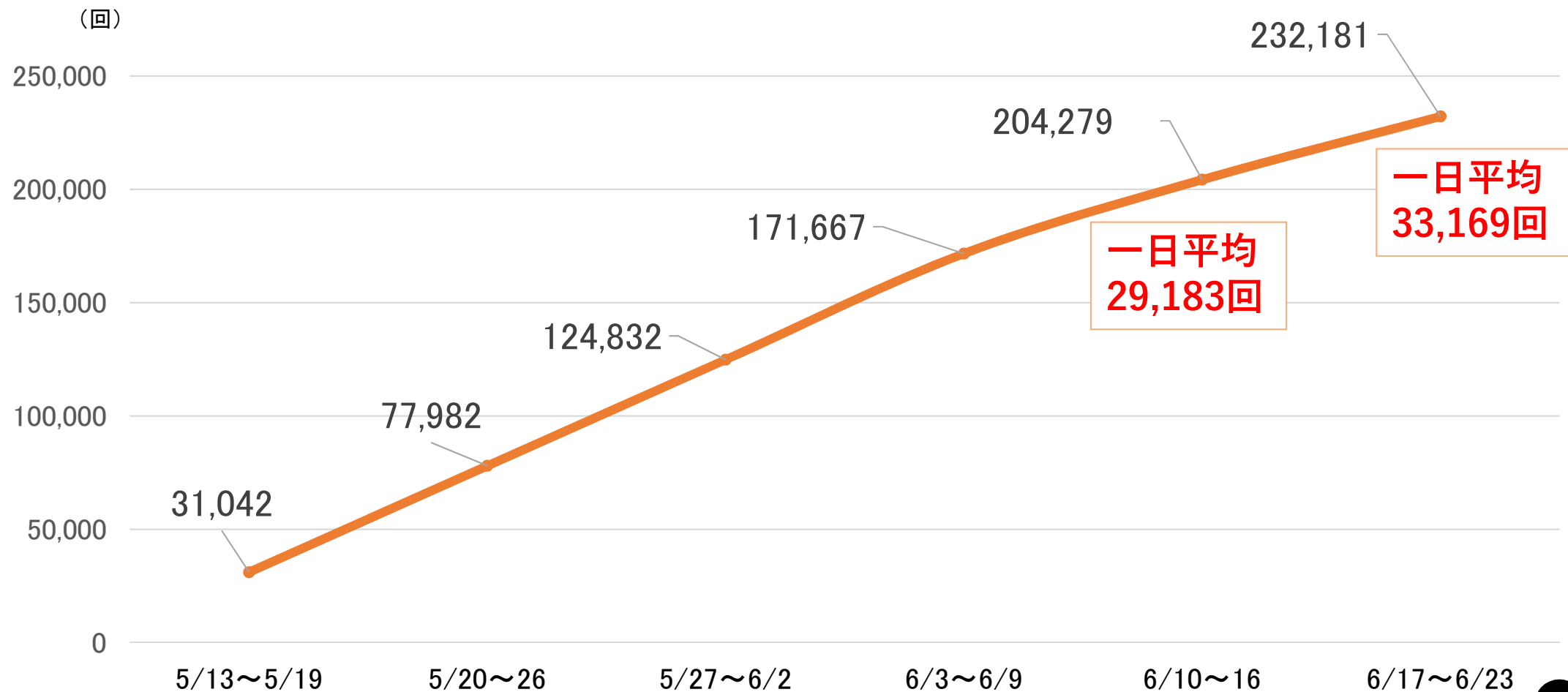
		接種数	接種率
北海道 (6/23)	1回目接種	656,637	39.7%
	2回目接種	198,623	12.0%
(参考) 全国 (6/23)	1回目接種	18,130,125	51.1%
	2回目接種	6,212,585	17.5%

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種回数)

2 直近1週間における接種回数(65歳以上の高齢者)

■ 6月17日～6月23日:23万2,181回(一日平均:3万3,169回)

3 1週間毎の接種回数推移(65歳以上の高齢者)



新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

4 高齢者向け接種

- 重症化リスクの高い高齢者の方々に、一日も早くワクチン接種を受けていただくため、市町村が行う集団接種に対する支援に加え、医療機関において実施される個別接種や集団接種に係る働きかけにも取り組む。
- 道医師会等と連携・協力の下、札幌圏に6月19日から7月末(予定)までの間、道直営の集団接種会場「北海道ワクチン接種センター」を設置。
また、今週から北広島市及び当別町分の予約受付を開始(6月19日からの第1週の予約状況:6月24日9時現在、予約枠5,760件に対し4,354件受付、予約率75.6%)。

新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

5 職域接種及び大学拠点接種の開始

- 道内でも職域接種及び大学拠点接種が順次開始(6月23日17時現在、申請数138件)。申請ベースで、職域接種対象者は累計36万人超。

なお、業種別の申請件数は下表のとおり。

(単位：会場数)

国申請受付数	うち 北海道分(※)	職域接種									大学拠点接種
		医療・福祉 (薬局含む)	運輸・流通	製造・小 売・メー カー等	観光	情報通信	金融・保険	建設	国機関 ・自治体	その他 各種団体等	
3,949	138	14	4	27	10	9	4	9	9	36	16

- 職域接種を希望する業界団体の要請を踏まえ、WEB説明会により制度内容等を周知(6月16日経済関係団体感染症対策連携会議、6月23日道経連オンライン説明会で説明済み)。
- 道においては、感染症対策本部指揮室(ワクチン班)と本庁各部、振興局が連携し、実施を希望する企業や市町村への受付・支援体制を構築。また、申請後の手続き等に資するよう、道ホームページの掲載内容を充実。

新型コロナワクチン接種の取組状況等について(モデルナ社製ワクチンの接種)

6 職域接種新規申請受付の一時休止及び自治体大規模接種に係る申請休止

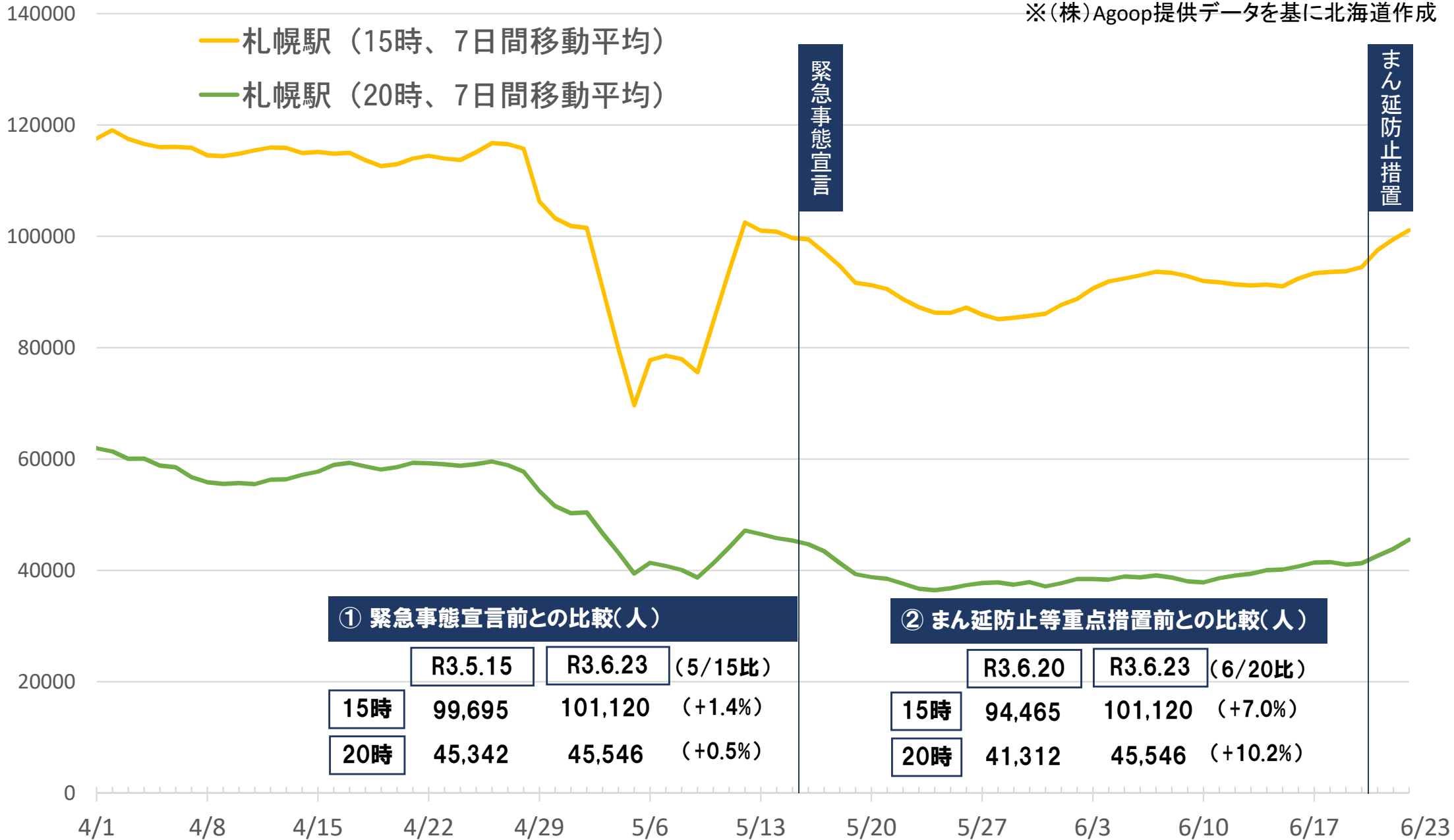
- 6月23日の河野大臣会見で、
 - ・新型コロナウイルスのモデルナ社製ワクチンを使用した職域接種の新規申請受付を 明日6月25日(金)17:00で一時休止すること
 - ・自治体の大規模接種に係るモデルナ社製ワクチンの新規の申請も直ちに休止することが示された。

- 道としては、ホームページへお知らせを掲載するほか、北海道経済産業局や先日設立した「経済関係団体感染症対策連携会議」とも連携し、各経済団体やその構成団体へ情報提供。

- また、今後、情報収集に努めるほか、国に対し、申請企業の接種開始予定日に間に合うスケジュールでの申請承認や情報提供など、丁寧な対応を求めていく。
併せて、自治体の大規模接種に影響を及ぼさないよう、モデルナ社製ワクチンの確実な供給を求めていく。

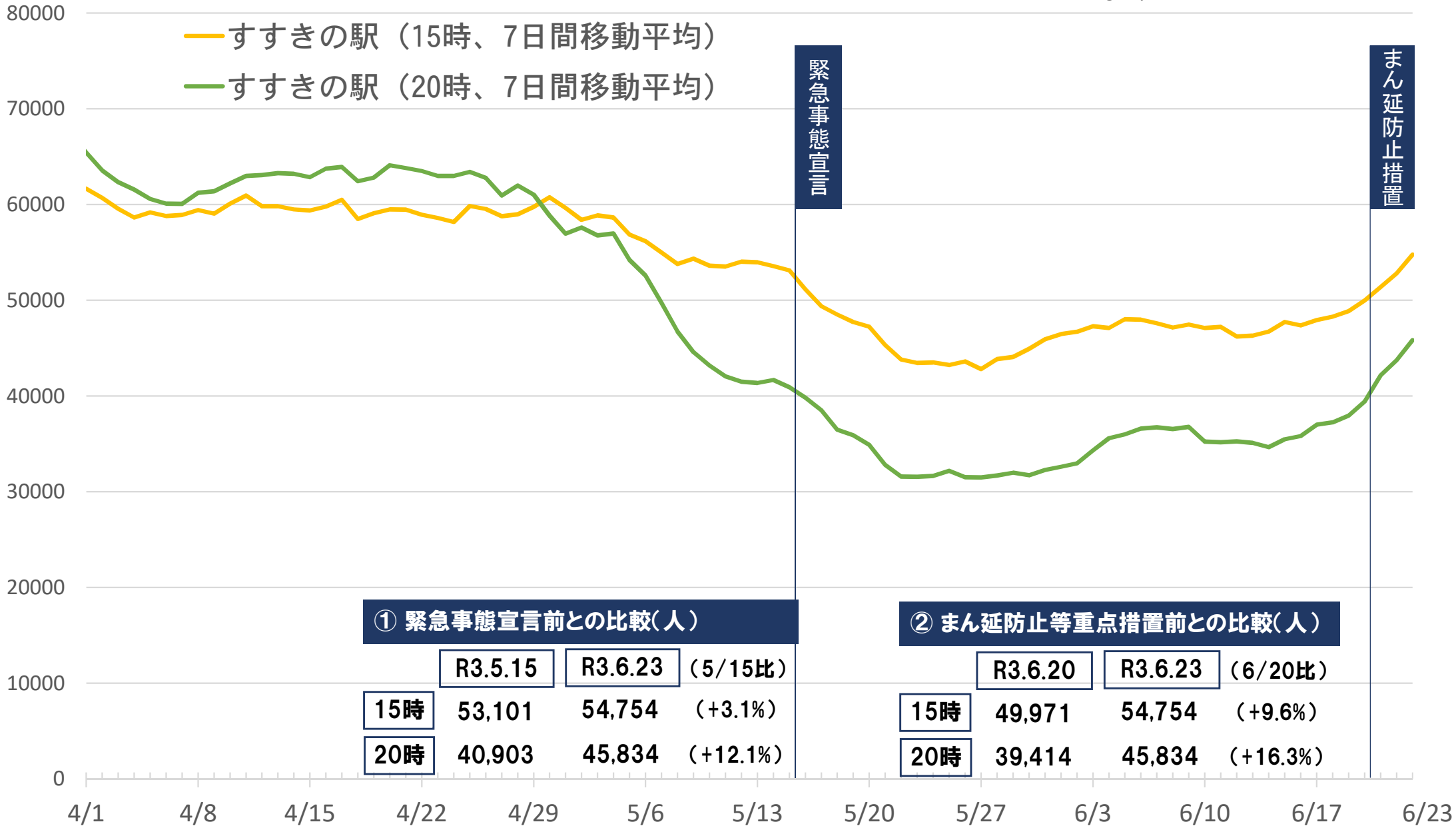
札幌駅周辺の人出

※(株)Agoop提供データを基に北海道作成



すすきの駅周辺の人出

※(株)Agoop提供データを基に北海道作成



総評①

【感染状況】

- 全道の新規感染者数は、減少傾向が続いており、10万人当たり7.3人となった。
- まん延防止等重点措置の措置区域である札幌市においても、減少傾向が続き、10万人当たり14.5人となった。
- 札幌市以外の地域では、10万人当たり3.2人となった。
- 札幌市の主要な地点における人流は、6月に入り、増加傾向が続いている。

【医療提供体制】

- 全道の入院患者数は減少傾向が見られるものの、引き続き、高い水準。
- 札幌市内においても、病床の確保及び入院患者数の減少により、医療提供体制に一定の改善が見られ、入院患者数は、国のステージⅣの目安を下回ったものの、引き続き、厳しい状況が続いており、警戒が必要。

【ワクチン】

- 65歳以上の高齢者への接種は、6月23日現在、1回目39.7%、2回目12.0%が終了した。直近1週間における一日当たりの接種回数は、前週よりも約4千回増加し、約3万3千回となっている。
- 職域接種が6月21日から開始。道内では、6月23日現在、企業・団体から138件申請があった。
- 6月19日から道直営の「北海道ワクチン接種センター」の運営を開始。更に今週から、北広島市と当別町分の予約受付を開始。6月24日現在、第1週の予約率は75.6%。

総 評②

【デルタ株スクリーニング検査】

- 今後の感染拡大が懸念されているデルタ株について、道立衛生研究所及び検査機能を有する10カ所の道立保健所、札幌市、旭川市、函館市、小樽市において原則、感染経路不明の陽性者の全ての検体の検査を実施している。

【今後の対策】

- 感染状況は大きく改善しているが、厳しい医療提供体制が続いており、感染が再拡大すると、医療提供体制は急速に危機的な状況に陥るおそれがある。新規感染者数の減少傾向を継続させ、医療提供体制の負荷の低減につなげていくためにも、全道域において、感染防止対策、感染リスク回避行動の徹底に向けて取り組む。
- 特に、措置区域の札幌市においては、新規感染者数をもう一段減少させることが必要。まん延防止等重点措置の下、札幌市と連携を図り、人と人との接触を抑えていくため、できる限り外出を控えていただくこと等について、様々な機会を活用して働きかけるとともに、飲食店等への見回りを機動的に実施する。
- 札幌を除く石狩振興局管内、小樽市、旭川市の経過区域においては、感染状況は大きく改善しているが、今後の大きなリバウンドを回避するため、関係市町村との連携の下、飲食店の時短等の遵守について働きかける。
- ワクチン接種について、引き続き、市町村へのきめ細やかな支援を行うなど、希望する方が、1日も早くワクチン接種を終えることができるよう取り組む。